

ミャンマー映画ウィーク



写真：映画『僕の帰る場所』より

『ぼくの帰る場所』 『海辺の彼女たち』
『白骨街道』

3作品上映&トーク
ワークショップ
入場無料

ロシアによるウクライナ侵攻に世界が注目を集めています。しかし、昨年2月1日に起きたミャンマーのクーデターによる軍の統治は今もなお続いています。軍によるデモへの弾圧や拘束後の暴行により死亡した人、拘束された人の数は計り知れず、経済の停滞や人道危機が起きています。私たち東アジアの平和を考える上で、この問題に向き合う必要があるでしょう。

そこで、今回はミャンマーと日本との関係について考えるために、講演会、映画上映会、藤元監督とのトークイベントを連続して企画しました。また、外国人労働者たちの実話をもとに描いた藤元監督の長編作も上映します。

■上映予定日時

2022年

6月17日（金） 「ビルマの軍政権と市民」 在日ビルマ市民労働組合会長 ミンスイ氏
14:45～16:15 10号館2F202

6月23日（木） 「ぼくの帰る場所」 13:00～16:15 33号館3F333（戸山キャンパス）

6月27日（月） 「ぼくの帰る場所」 10:30～12:10 15号館1F 101

6月27日（月） 「海辺の彼女たち」 16:30～18:00 34号館3F 355（戸山キャンパス）

6月30日（木） 「海辺の彼女たち」 13:00～16:15 33号館3F 333（戸山キャンパス）

7月 1日（金） 「ぼくの帰る場所」 14:45～16:15 14号館5F 514

7月 1日（金） 「白骨街道」 17:00～18:30 14号館1F 102

※上映後に藤元監督・渡邊プロデューサーのトーク&ミャンマー関連ワークショップwithピースボートを企画



『海辺の彼女たち』



『僕の帰る場所』



『白骨街道』

主催：早稲田大学アジア研究所

共催：早稲田大学平和学研究所／早稲田大学総合人文科学研究センター「過去・現在・未来をつなぐ社会構想と
共同実践・社会的課題に取り組むための実証分析と方法論の模索」

協力：ピースボート、APLA